

# 豆田町並み通信

第68号

発行者  
豆田町伝  
建保存会  
28年9月

## 千年あかり実施計画を協議！

千  
年  
あ  
か  
り  
委  
員  
会  
あ  
実  
会

八月九日(火)第一回実行委員会が開催され、竹の伐採場所の提示と竹の伐採作業を九月十一日と九月十八日、更には十月二日(予備日)十月九日(日)の三回に分けて行う事や、十月三日以降の竹の玉切り作業や十月十一日以降に和紙貼り作業を行う事が協議・了承されました。

本年よりは作業場として、市が整備した旧給食センター跡地の建物を活用することとなり、伐採した竹もその作業場に搬入し・加工する事も報告されました。



今年度の事業計画について協議した  
第1回実行委員会

## 竹伐採作業開始

本年度最初の竹伐採作業が九月十一日(日)今年度伐採地となった財津町の竹林で行われました。

この日は豆田の地元住民に加えて九電や商工青年部などのボランティア60名が参加し、約三百本の竹が伐採され、作業場へ搬入されました。

今後、竹伐採作業を二回行う予定になっており、参加希望者は ☎0901194-2949 園田まで連絡をお願いしますとの事です。



伐採された竹をトラックに積み込む参加者

## 上町通りの線 舗装検討委員会開催

七月十一日(月)、八月十日(水)の二回にわたって、傷みが激しい上町通りの舗装を検討する会議が開催されました。

会議では車の通行が多く(一日十二時間で大型車一六台、普通車六四二二台)、丸い玉砂利を使用しているため、通常砂利の排水性舗装よりも路面が剥がれ易いなどが原因である事が指摘されました。

その為、景観に配慮しながらも、排水性は維持しつつ、通行にやさしい舗装とする事が決定されました。具体的には黒系統に近い舗装とし、歩道スペースを確保するために、車道部と歩道部を色分けする事となりました。

工事は十月以降、夜間工事(午後八時より午前六時)を原則に行われます。尚、みゆき通り線の舗装工事は次年度となる予定です。



舗装の在り様を話し合った検討会

## 平成二十八年度修理事業進む

平成二十八年度の事業である柞原家主屋と旧古賀医院離れ座敷修理工事が着工され、又一カ年の継続事業となっている薫長酒造の穀蔵と、平成二十七年の継続事業として承認され、二八年度に繰越事業となった小倉家長屋の修理工事が進められています。



柞原家主屋の修理現場



耐震補強工事を含め修理工事が進む離れ座敷



小倉家長屋の修理現場

# 日本遺産活性化懇話会開催!

八月十八日(木)天領資料館にて、第一回目の「日田市日本遺産活性化懇話会」が関係自治会や地元商店街・豆伝会の代表等が参加して開催されました。

会議は平成二十七年四月に「咸宜園」や「豆田町」が日本遺産に認定された事を受け、市外への情報発信の在り方、来訪した観光客に魅力を伝える為の方策を探るために開催されました。

具体的には、スタンプラリーの実施、子供ガイドの養成事業、教育遺産アプリ活用促進事業などが提案されました。

協議では卓上のぼりのデザインなどが決定され、今後は二か月に一回定期的に会議を開催し、日本遺産による活性化について検討していく事となりました。



日本遺産を生かした観光振興や地域活性化を協議する参加者の皆さん

# 無病息災願ってえん魔様まつり!

恒例の「えん魔様まつり」が八月十六日(火)丸の内の大超寺で行なわれました。この日はお盆休みの最後の日とあって帰省客や地域の方が多数参拝しました。

本堂では首藤泰爾住職が打ち鳴らす鉦に合わせて「百万偏大数珠」の供養行事が行われ、参拝者は先祖供養と無病息災を祈っていました。

境内では檀家有志の「明照会」が主催する福引やめだかすくいなどの屋台が並び、子供の歓声が響いていました。



鉦に併せて、大数珠を回す参拝者、子供達は中央の小數珠で願いを込める



年1度の御開帳となる地獄・極楽絵図の説明を行う首藤副住職と聞き入る参拝者

# 二十八年祇園祭り点描

天候に恵まれた本年の祇園まつりは、多くの見物客が参集し、夏の暑さを吹き飛ばす祭りとなりました。



御神輿巡行の為、並んだ豆田地区4基の山鉾。



御幸橋上に揃った提灯を灯した晩山四基



豆田地区を清めて回る御神輿行事



右より上町・港町・下町の見送幕 ↑  
本年新調した中城町の玄武の見送幕 →